

平成 25 年 7 月 25 日
生涯学習・文化財課

ドナルド・キーン氏からのメッセージについて

1 経緯

今年5月の講演の際、日本での古典教育に話が及び、古典文学が文法を学習するための教材になっていること、文学として学ぶことで古典の楽しさや素晴らしさがわかることを強調された。

キーン氏に、福井県の学生へ向けたメッセージを依頼したところ、先日(7月)、越前和紙に書かれたメッセージを頂いた。

2 内容

「ひとり燈のもとに文をひろげて、見ぬ世の人を友とするぞ、こよなうなぐさむわざなる」

出典：『徒然草』13段

現代語訳：ただひとり、燈火の下に書物を広げて読み親しみ、それを書いた見知らぬ昔の世の人を友とすることは格別に心の慰めとなることである。(旺文社刊、安良岡康作訳注)

3 今後の活用

生徒たちに古典の楽しさを改めて感じてもらえるよう、学校教育に活用。

また、7月23日に県立図書館および若狭図書学習センターに開設した子ども古典コーナーに展示。

